

第2回「マナーキッズ」調べ表彰者発表会感想文

「マナーキッズ」調べを体験して

私たちの学校では、昨年度に引き続きマナーキッズ運動を行っています。その中でも、児童会が中心になって特にあいさつ運動に力を入れています。私は、昨年からその運動に参加しています。

しかし、私自身、仲のよい人には元気に「おはようございます」とあいさつをすることができたのですが、他の学年や親しくない人にはあいさつをすることが恥ずかしいと思ってしまい、なかなか元気よく相手の目を見て、心を込めてあいさつをすることができませんでした。

私のとなりで学校中に響き渡るくらいの大きな声であいさつをしている先輩がいました。そこで、どうしてそんなに大きな声で恥ずかしがらずにあいさつができるのかを聞いてみました。返ってきた答えは、「僕には目標があるから恥ずかしくない」というものでした。この先輩は、卒業までに全校にあいさつを広めるという目標があり、そのために毎日心をこめて大きな声であいさつをしておられたのです。

この答えを聞いて、恥ずかしいと思っていた自分が恥ずかしくなってきました。しっかりした目標をもって努力している先輩の横で、自分の思いだけを優先して、その先輩の目標のさまたげになっている自分を情けなく思いました。

今、私はその先輩の意志を引き継いで、心をこめて「おはようございます」と大きな声であいさつをしています。マナーは知っているだけでは、お互いが気持ちよくなれません。最初は恥ずかしいと思う気持ちがあっても勇気を出してあいさつを続ければ、それが当たり前のことになり、互いが気持ちよく暮らせると思います。また、相手を思いやり、心と心が通じ合える礼儀やマナーの基本の定着にもつながっていくと思います。マナーキッズで調べたことは、どれも重要なことばかりです。これからも全校児童で力を合わせて、自分たちのよい習慣を広めていくこと。人を見習い見習われてみんなで高めあうことを目標にしたいと思います。

これからもときどき「マナーキッズ調べ」を行って、今の自分はどこまで高まっているのかを確かめながら生活していきます。

(富山県富山市立針原小学校6年生、女子)

「マナーキッズ」調べを体験して

ぼくは、ほいくえんのかえりに、いつもじむしょにいったあいさつをしてからかえります。あいさつをするときもちがいです。これからもまいにちあいさつをつづけたいとおもいます。

(東京都墨田区立ひきふね保育園年長組、男子)

「マナーキッズ」をやって

マナーキッズをやるまで、私はあいさつのことを気にしていませんでした。でも、マナーキッズをやる、意外にできていなかった事や、あいまいな所がいくつかあったことに気がつきました。

一つ目は、こまっている人に、「どうしたの?」と聞く事です。私は自分でもできると思っていました、考えてみると困っている人でも、見ず知らずの人に話をかけるのは、むずかしいと思いました。知らない人に話しかけるのは勇気がひつようです。でも、そんな中、勇気をふりしぼって「どうしたの?」と言える人はすごいと思います。

私は、町で困っている人を見かけたら、やさしく声をかけれるようにしたいと思います。このようにマナーの中には、勇気がひつような事もあると思います。

ですから、マナーはやらなくてはいけないからやる。という事ではなく、自分自身から、勇気を出してマナーを守る、ということだと思います。

私には、勇気が無いと自分で思っていたけど、勇気は自分で思いこんで決まる物じゃないと思うので、これからは、勇気を出して、自分自身のマナーをもっと高めていきたいと思います。

(東京都品川区立京陽小学校4年生、女子)

「あいさつのやりとり」

ぼくは、あいさつのやりとりについて書きます。このテーマをえらんだのは、あいさつが大切だということをみんなにわかってもらいたいからです。

「おはよう」で一日がはじまり、「いただきます」でごはんが食べられます。「ごちそうさま」でごはんがおわります。「さようなら」で友だちとわかれます。「おやすみなさい」で一日がおわります。

あいさつは、人と人をつなぐ大切なことばだと思います。あいさつをかわすだけで、一日が楽しくなります。あいさつは、人と人をつなぐさいしょのきっかけのことばなのです。みんなが自分からあいさつをすると、みんなが楽しい一日をおくれます。ぼくは、これからも自分からあいさつをして、一日を楽しくし、友だちとなかよくあそんでいきたいと思います。

(東京都品川区立京陽小学校2年生、男子)

「私が毎日心がけていること」

私は、毎日言葉遣いや、生活に気をつけていますが、その中でもとくに気をつけていることがあります。

一つ目は、クチャクチャ音を出さずに食事をする事です。なぜかという、レストランでとなりの席の人が音を出して食べているのを見て、いやな気持ちになったことがあるからです。私は、回りの人がいやな気分にならないように、また回りに食べている物かとばないようにするために、音を出さずに食べることを意識しています。

二つ目は、生きている物を大切にすることです。花や草木も生きています。いたずらをしたら、命をなくしていることになりま。みんな同じ命で生きているので、花や草木、動物も大切に扱うことが大事だと思います。

三つ目は、人にうそをつかないことです。以前、本で「うそをかくすためにうそをつき、またうそをつく、そのくり返しをすると、何もかもがつまらなくなる。」というのを読んだことがあります。私は、うそが重なっていくとどんなことも楽しくなくなると考えています。人をだましたら、あとで後かいは自分です。だから、本当のことをきちんと言うのは、良いことだと思います。

これからも、この三つだけでなく、他のマナーも毎日心がけて、楽しく生活したいです。
(東京都品川区立浜川小学校4年生、女子)

「マナーの大切さ」

私は、京陽小学校で江戸しぐさやマナーキッズテニスを通したマナーについて学んできました。また、あいさつ運動を通してあいさつすることの大切さを学んできました。

京陽小学校では、週に一度、校長先生が私たちに江戸しぐさを教えてくださいます。江戸しぐさは、その当時世界最大の人口都市だった江戸で互いが気持ちよく過ごすためのマナーのことです。江戸しぐさの中には、今でも伝わるマナーがあります。例えば「いただきます」という言葉です。この言葉には二つの意味があります。一つは、料理をしてくださった方に対する感謝です。私たちは、多くの命をいただいて生きています。そのことを忘れないためにもこの言葉は大切だと思います。いきで、すてきな江戸しぐさがたくさんあり、それを京陽小学校の生活に合わせた京陽しぐさを作り実践しています。

マナーキッズテニスでは、初めはテニスの技術があがれば良いと思っていました。しかし、そのことよりも大切なことがあることを知りました。それはあいさつです。ことわざに「礼に始まり礼に終わる」というものがあります。あいさつは、相手に対する敬意であり、自分自身がこうして運動できることへの感謝の示しだと思います。これからも気持ちの良いあいさつをしていきます。

2020年は、東京オリンピック・パラリンピックでどのようなおもてなしをすることがで

きるか。語学を学び設備を整えた建物でお迎えすることも大切だと思いますが、まずは、海外からの来た方たちに笑顔で目と目を合わせて心から歓迎の思いを込めたあいさつができるようにしたいと思います。そして江戸しぐさの様な日本人らしい、いきで気持ち良いマナーで最高のおもてなしが出来るようにしたいです。その様な行動がいつの日か世界中に広がって争いのない世の中になることを信じてがんばります。

(東京都品川区立京陽小学校6年生、男子)

「はやねはやおきっていいな」

わたしは、9じまでにねることをがんばっています。9じまでにねるのは、わたしがっこうのせいかつのめあてのひとつです。わたしは、8じにはねます。はやくねるといいゆめをみて、あさまでぐっすりねむれます。あさはすっきりおきて、あさごはんもたくさん食べれます。はやくしょうがっこうにいきたいとおもいます。しゅがっこうはたのしいです。いつもがっこうでどんなことがあるかな、わすれものはないかなとおもいます。

なつやすみがおわって、2がっきになると、はやねはやおきができるようになってきました。はやくおきることもがんばりたいです。はやくおきて、おかあさんやおとうさんやおとうとに、えがおで「おはよう」といいたいです。

(鳥取県八頭町立船岡小学校1年生、女子)

「いいこといっぱいマナーキッズ」

わたしは、二年生になってから、じかんをまもることをとくにがんばっています。学校では、休けいじかんがおわるまでに、教しつに帰るように、とけいを見てうごいています。友だちとも、「そろそろ帰ろうで。」「もうじかんだで。」など、声をかけあっています。じかんをまもると、よゆうをもってじゅんぴができ、よかったです。

家では、とけいを見て、六じになったら帰ったり、テレビのじかんをきめて見るようにしたり、じぶんで気をつけています。おふるにゆっくり入って、よる九じにはねるという生活のリズムもできました。

じかんをまもると、たくさんいいことがあるとわかったので、これからもつづけていきたいです。

(鳥取県八頭町立船岡小学校2年生、女子)

「マナーキッズ調べをして」

私は、夏休みに家族でマナーキッズ調べをしました。調べてみたらいろいろなマナーがあることにびっくりしました。マナーはいっぱいあって、全部守るのはとてもたいへんだと思

いました。中でもあいさつやおじぎはとても大切です。なぜなら友だちや先生、家族のみんなと仲よく生活していくのに大切なことだからです。

もし私が道で友だちや先生と会ったときにおじぎもしないで通りすぎたら、話すこと仲よくすることもできないかもしれません。

でもあいさつをすれば、友だちとあいさつのあとにおしゃべりしたり、遊んだり、仲よくなることができます。

私は、家族や友だちにあいさつやおじぎをえがおで自分からすすんでしようと思います。

マナーキッズ調べでは、ほかにもたくさんマナーがありました。ぜんぶのマナーを守るようにするためには、一生けんめいどりよくして、こころがけるようにしなければならないと思いました。

マナーキッズ調べでは学んだマナーがふだんの生活でもできるように、家族のみんなといっしょにどりよくしていきたいです。

(東京都品川区立浜川小学校3年生、女子)

「マナーキッズ調べをして」

マナーキッズ調べをして、気づいたことがあります。それは、「自分であまり気にしない所がたくさんある。」と言うことです。

たとえば、「晴れた日はたいてい外で遊んでいます。」と言う所です。学校の休み時間、外が晴れていれば、男子も女子もまざって、おにごっこをしています。私は、おにごっこが好きなので、自然と「外で遊びたい。」と言う気になるのです。だから、あまり気にしていませんでした。けれど、それがいいことだと気づきました。

あいさつや家にいる時でも気にしていない所が二つありました。

一つ目は、あいさつの時、「こしをおる。」と言うことです。今までは、頭だけを下げているので、これからは気をつけたいです。

二つ目は、食事の前、学校では手を洗っていますが、家では手を洗っていません。これからは家でも学校でも、食事の前は必ず手を洗いたと思います。

三つ目は、テレビを見る時間を決めていないと言うことです。これからは、自分で決めたいと思います。

マナーキッズ調べでは、全部に「はい。」がつかなかったので、毎日「マナーキッズ調べ」を見てチェックして、少しずつ直していきたいです。目標を決め、その目標に向かい、しっかりと取り組んでいきたいです。

(新潟県三条市立嵐南小学校4年生、女子)

「マナーキッズをたいけんして」

マナーキッズでは、テニスをしながらあいさつすることがたのしかったです。あいさつをしてもらうのも、するのもきもちがいいので、これからもたくさんあいさつをするようにしたいです。

(東京都墨田区立東あずま保育園年長組、女子)

「自分から」を意識して

わたしは、今年マナーキッズ 50 の中の「しせい」を特にがんばりました。わたしが、しせいをがんばり始めたのは、5年生になって先生から「立ようカード」をもらった時からです。4年生の時は、いすの背にもたれすわったり、足を広げてすわったりして注意されていました。そして、とてもはずかしい思いをしました。

「立ようカード」をもらってはじめてころはよいしせいが意識できていなかったし、よいしせいをしようとすると、すぐに足こしがいたくなりました。でも、だんだんなれてくると、自然に背すじをぴんとのばせていました。あまり注意されないように自分で気をつけようと心がけられたからかもしれません。しせいをよくしたら、他にもいいことがありました。

「しせいをよくすわったら、字もきれいになる。」と先生が言われたので、家の中でも立ようを心がけました。すると、漢字の宿題にかかる時間が、前より約4分も、ちじんでいました。わたしは、もともと字を書くのがあまり速くないので、とてもびっくりしました。しせいよく書けば、速くてきれいな字が書けるんだと実感しました。

今回、立ようをがんばる中で、自分の心がけがとても大事だということが分かりました。わたしには、まだ身につけたいマナーがいくつかあります。「自分から」を意識して目標を立て、どんどんクリアしていきたいです。

マナーキッズ 50 をクリアすることで、礼儀正しい子どもになり、近所の人たちからほめられたり守られたりすると思います。そして、周りの人から信らいされる大人になれると思います。

世界一のマナーキッズをめざして、やさしくてみんなに信らいされるわたしになります。
(鳥取県八頭町立船岡小学校 5年生、女子)

「マナーキッズしらべ」

わたしは、マナーキッズしらべをしてみて、とてもたのしかったとおもいました。なぜかという、わたしががっこうでがんばっていることをきちんとできているかしらべることができたからです。

わたしはべんきょうをするとき、いすにすわるときにきちんとあしをそろえて、せなかを

のばすようにしています。せんせいのおはなしは、きちんとめをみてきくようにしています。なぜかというとせんせいのおはなしをよくきかないと、つぎにやることがわからなくなってしまうからです。

きをつけのときは、きちんとてをそろえています。たいいくすわりのときは、しっかりひざをかかえて、ふらふらしないようにしています。ふらふらしているひとをみるとかっこわるいとおもうので、わたしはきをつけています。

これからもきちんとした一ねんせいをがんばりたいとおもいます。そして4がつからは二ねんせいになるので、一ねんせいのおてほんになりたいとおもいます。

(東京都品川区立浜川小学校1年生、女子)

「マナーキッズ調べ」をやってみて

私はマナーキッズ調べをやってみて、できていない所がありました。それは言葉編の10番。(困っている人に「どうしたの」と聞いています。)という項目です。生活している中で困っている人を見かける事もあります。だけど、赤の他人と誤ってしまい話すことができません。マナーキッズ調べの自分の評価をしてみて、改めて自分はこんな事ができていないのだなと実感しました。これからは勇気を出して声をかけてみたいと思いました。

また、言葉編の 番から 番は時々忘れてしまったり、ぼーとしていてするのを忘れてしまいます。それに、していても大きな声がでてないという事があり、やってない事になってしまいます。その点についても意識していきたいです。

そして、ふだんからやっている事でも、大切な事だと思う物がありました。社会規範です。全てふだんからやっている事ですが、 、 、 番など自分も他の人でもできないと気持ち悪いです。自分がしてなくても他の人がやっていたら止めてあげて、やってしまった事をわかってもらいたいです。今後もチェックシートに書いてあった全ての事をできるように、生活をしっかりしていきます。

(東京都品川区立浜川小学校6年生、女子)

「マナーは自信」

私は周りを気にしすぎたり、心配しすぎたりします。だから、何かをしようとするといつも自信をなくして先生や友達や家族に「もっと自信を持ちなさい。」と言われる。言われるたびに私は少し自分がきらいになっています。「みんなは出来るのになんで出来ないの。」と思ってしまいます。そのたびに自信をなくしてしまうのです。

でも、そんなとき学校でマナーキッズ50が配られました。一つずつよく考えながら印をつけていくたびに、私にも出来ていることがあるんだなあとほっとしました。そしてこれからもっと出来る事、自信が持てることを増やしていきたいと思うようになりました。

まず、堂々と「はい。」と返事することを心がけました。すると、とてもすっきりして気分がよくなりました。それに、これからがんばろうという気持ちになるのです。

私には、問題の答えが分かっているのに発表しないというくせがあります。答えをいいたいのに、「まちがえたら何て言われるだろう。」とってしまうのです。でも、今では迷いながらも挙手して発表することが増え、発表して良かったと思えるようになりました。

そして、あいさつです。私は苦い経験があります。それは、急いで家に帰っていて、地いきの人にあいさつするのを忘れてしまい、「今の子どもはあいさつもできんだか。」とおこられたことです。あいさつをしなかった事だけでも心配になるのに、その上、おこられたので、さみしく心がしぼんでいくようでした。

マナーを身に付け、笑顔で生活すると自分も周りの人も気持ちよく過ごせると思います。

これからもっと自分をみがいて、自信を持って自分が好きと思えるようになりたいです。
(鳥取県八頭町立船岡小学校6年、女子)

「マナーキッズ調べ」

マナーキッズ調べをやって、特に大切なことは、お父さん、お母さんの言いつけを守ること、人にうそをついてはいけないこと、友達のお口は言わないこと、いじめを見たら「もうやめなさい」と言うことです。

私は、いじめをされている人は、とてもくやしきもちなので、いじめをしている人を注意することです。

私が、がんばりたいことは、二つあります。

一つ目は、言葉をゆっくりと、終わるまでははっきりと言いたいです。私は、話したい事を早くつたえたいのでつい早口でしゃべってしまいます。

二つ目は、いすのせにもたれてすわることです。私は、もたれてすわるくせがあるので、それをなおしたいです。

私は、これからは、家の手伝いをして、私は、指をそろえてハの字にひざの上に置くこと、こまっている人に声をやさしくかけることです。

(東京都品川区立京陽小学校4年生、女子)

「すてきなマナーを身につけたい」

マナーキッズになるために、わたしは特に「夜は十時前にねて、朝は早く起きています。」をがんばっています。なぜかという、きそく正しい生活をしないと、マナーなんて守れないからです。だから、きそく正しい生活をしてマナーをがんばろうと決めました。

そして、朝食を必ず食べています。しっかり朝食を食べて、頭をはたらかせて、勉強したりマナーを身につけるようがんばっています。それに朝食を食べると、毎日元気もりもり

です。

学校では、マナーといえば「しせい」と考えて、いつでもどこでもしせいを正そうとがんばっています。正しいしせいで勉強していたら、勉強を見にこられた先生に、「扶羽さんが一番きれいなしせいだったよ。」と言われてうれしかったです。

マナーとは、自分だけでなく人も笑顔にしていると分かりました。

この他にも、うつむいて歩くと心もうつむくので、うつむいて歩かないようにいしきしています。

わたしは、マナーキッズ 50 を守ることができるようになりました。でも、がんばらなくてもできることと、すごくいしきしないとできないことがあります。いつかは、全部自然に行動できる人になりたいと思います。

(鳥取県八頭町立船岡小学校 4 年生、女子)

「マナーをずっとまもる」

わたしは、マナーキッズしらべで、自分の生活をふりかえりました。わたしがとくにがんばっていることは、あいさつとことばづかいです。

あいさつをするときは、にこにこで、あいての目を見て、ことばを言ってからおじぎをすることをこころがけています。よいあいさつをするとあいてが気持ちがいいとおもいます。

また、「今日もわたしは元気です。」とつたえることができます。あいさつで人と人のこころがつうじあうとおもいます。

それから、「～です。」「～ます。」のようないねいなことばをつかうようにしています。いやなことばをつかうと、自分もあいてもいやな気持ちになるので、そういうことばをつかわないようにしています。

これからも、みんながえがおになってくれるように、マナーに気をつけて、できることをやっていきたいです。

(東京都品川区立浜川小学校 2 年生、女子)

「す直になったぼく」

ぼくのがんばれたことは、「ごめんなさい。」と言えるようになったことです。悪いことをした時に、す直にあやまれず、お母さんにしかられることが多かったです。このままだと、ずっとしかられつづけるかもしれないし、そんなことはいやだと思いました。

そこで三年生になるのをきっかけに、ど力してみようと思いました。始めのころは、なかなかあやまれませんでした。でも、よく考えてみると、自分が悪いと気づけなかったことが多く、自分の都合のいいように考えていたと分かりました。

学級の友だちと遊んでいる時、友だちをころばせてしまいました。ぼくは、「ごめん。」と

すぐあやまると、友だちがえ顔で、返事をしてくれました。す直にあやまると、こんなにいい気持ちになれるんだなあと思いました。このでき事がきっかけで、ぼくは、相手の気持ちを考えるようにしようと思いました。だんだんと気持ちが楽になってきました。友だちと遊ぶことが、前より楽しくなってきました。そうすると、お母さんにしかられることも、ずい分へってきたと気づきました。

自分にも、周りの人にもす直になるって大切なことなのだあと思っています。これからも、この気持ちを大事に生活したいなと思っています。

(鳥取県八頭町立船岡小学校3年生、男子)

「マナーキッズについて」

マナーキッズは、人にたいしてのれいぎやあいさつのことです。

ふだんは、あいさつや人にたいしてのれいぎは、あまりきにしていませんでした。こんなに、じゅうようなことが分かりました。マナーキッズ調べでは、おじぎをした後は、相手の顔を見ることがあまりできていませんでした。しっかりできるように、なりたいと思いました。困っている人に、だいじょうぶですかは、大人になっても大事だと思いました。マナーキッズ調べで一番できているのは、あいさつをかかさずにあることです。あいさつは、大きくなっても、かならずしたいと思っています。

おとなになってもマナーキッズをわすれないでつねに、マナーを守りたいと思いました。小さい子にも、マナーはじゅうようなことをおしえてあげたいと思っています。

マナーキッズを、いまからべんきょうしたいと思いました。あまりできないことをできるように努力をしたいと思いました。

いけないことをしている人がいたら、「だめだよ。」と、いえるようになりたいと思います。少しの人たちが、れいぎやあいさつをおしえてあげれば、みんながあいさつやれいぎがよく分かると思いました。マナーキッズは、いわなくてもみんなのできる人たちになってほしいと思いました。このようなことをし、りっぱな大人になりたいです。大人になっても早寝、朝起きをしたいと思っています。いけないことをしてたら私たちが注意してすみよいまちになりたいと思っています。これからもマナーを心がけたいと思いました。こんなに、マナーが大切だと心の中でつよく思いました。

(東京都品川区立浜川小学校5年生、女子)